

中国陸運(株)が山口テクノ第2団地へ進出 山口営業所を拠点に西日本一帯に食品輸送

食品運送業の中国陸運(株)(広島県廿日市市、西尾義輝社長)は、このたび山口営業所佐山センターを山口市佐山の山口テクノ第2団地に進出することを決定し、2日山口市役所において進出協定調印式を行った。

同社は、広島県廿日市市に本社を置き、大阪から中四国地方、西日本一帯に9営業所を設置し、食品卸問屋、外食産業の店舗に食品輸送を行って65年の実績を誇る。今回進出した山口テクノ第2団地C-4区画は2年前廃止となつた明治フレッシュネットワーク(株)山口営業所の土地と建物を今年7月に取得したもので、同施設をそのまま有効利用する。敷地面積は7,355平方㍍、建築床面積は2,040平方㍍。1部改装し、今年10月から本

格稼動の予定。設備投資額は約2億6,500万円にのぼり、30人の雇用を創出する。

式では、まず、渡辺純忠山口市長が「中四国地区で着実に業績を伸ばし食品の物流事業を展開されている御社と

調印の運びとなつたことは喜びに絶えない。」と歓迎のあいさつ。この後、県商工労働部の福田浩治部長の立会いで調印書に署名した。

西尾社長は「大阪から九州に輸送すると山口県が中間地点となり、運転手の労働

時間の問題から中継地としての必要性が高まつた。さらに交通の立地条件の良さ、特に県内も中央に位置し、県全体の配達にも有効ということから決定しました。これから地元より従業員を採用するなど、山口市に貢献していきます」と抱負を述べた。

問い合わせはTEL0829-31-1128。



進出協定調印を行った中国陸運(株)西尾社長(写右)